中町公民館

十町公

中町

町

中町公民館

Nakamachi

東町
東田

東町

東
町

西町
西町
西町

射水市指定文化財
海老江西町曳山の由来
海老江加茂社の秋祭り（秋分の日）には、氏子中から三本の曳山が出される。海老江の曳山祭りは、江戸中期から現在まで伝承されている「名物祭り」である。
西町曳山は、海老江地区が江戸中期から明治にかけて、漁業を中心として最も栄えた時期につくられたものである。海老江大宝寺文書によれば、西町曳山は海老江で最初につくられたとあるが創建は不明である。
再建は天保十二年（一八四一）である。この曳山は、明治二十九年八月二十三日昼に出火した俗称「紗菓子焼け」といわれる西町大火で焼失。今のものは明治三十四年（一九〇一）に新調された。大工は、井波の松井角平である。
標識は、もとは「鉦」であったが、天保十二年から「打出の小槌」となった。今の標識は、昭和五十三年に新調したもので、井波の久村角之助の作である。王様は、大漁の「恵比寿」である。
前人形は、もとは「猿公」であったが、昭和五十四年に「唐子童子」という本からくり人形に改めた。
この前人形は、日本一の人形師、七代目玉屋庄兵衛（名古屋）の名作である。二十二本の糸の操作によって小太鼓を叩いて歩いたり走ったりして、瞬時に唐子や猿の顔に変身するという北陸地方唯一の名物人形である。
山体は、すべて檜材で、彫刻部分には檜材が使われている。もとは白木であったが、昭和五十三年と五十六年の二回にわたって彫刻を除く全面の漆塗装を完成した。
塗りは、井波の新敷晃仙（労働大臣賞受賞）の力作である。
この曳山の誇りは彫刻である。木目を活かした白木の高肉彫りで、山体のすべてが花鳥と動物や仙人と童子などを描いたみごとな彫刻でいっぱいである。作者は明確でないが、その作風から井波彫刻の祖、大島五作であろうといわれている。
昭和五十八年（一九八三）三月吉日
海老江西町文化財保存会

たけうち

西町楽山
西町楽山

西町
西町曳山

西町
40

西町
西町曳山

西町曳山

西町鬼山

西町出
西町出

ひかり薬局
梅崎ク

東町曳山
東

東町

防火水そう
中町
中町

中町
中町
中町

大宝寺
宝殿
東町
東田

東町

東町

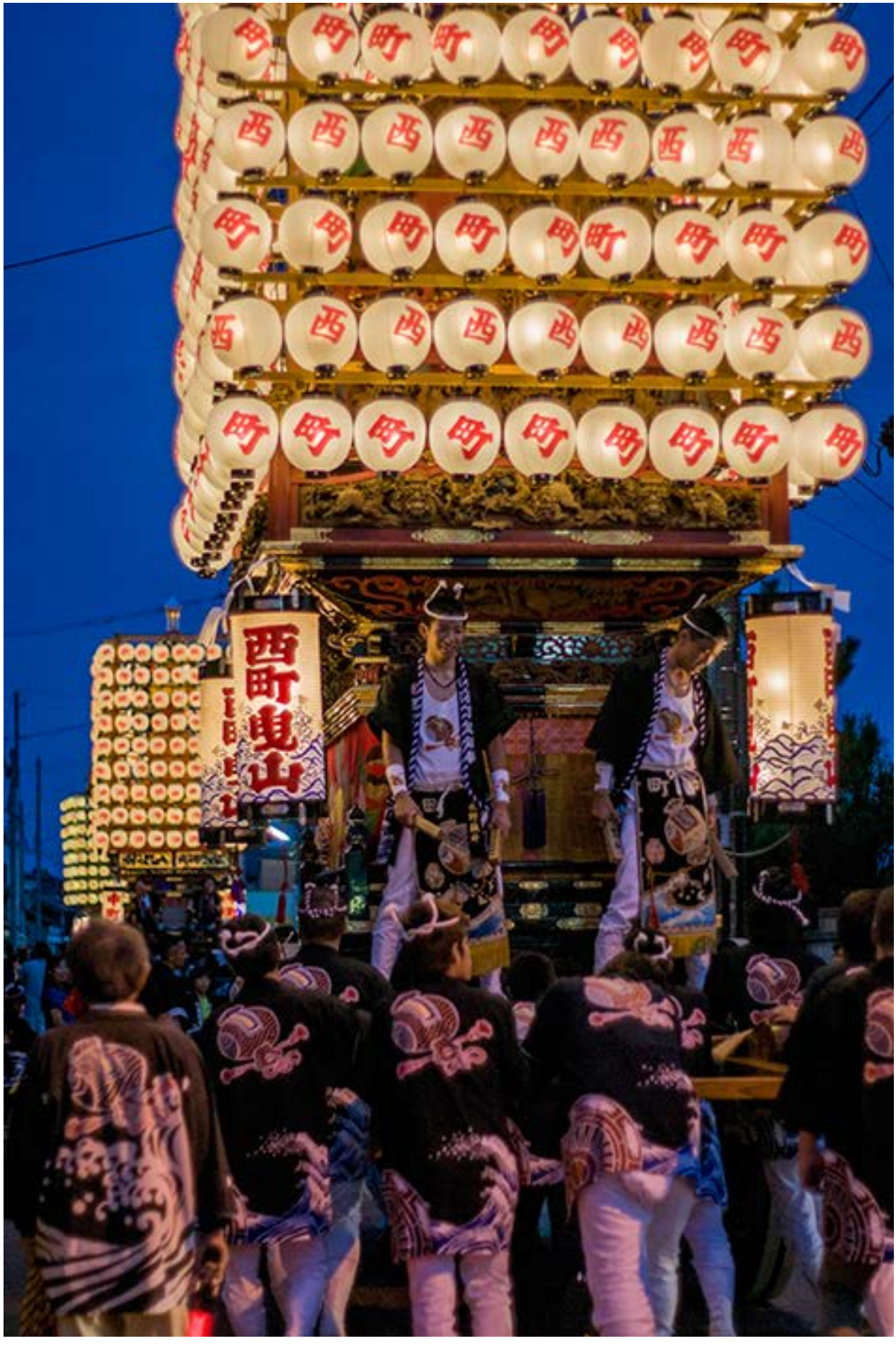
泉町

中町
中町
中町

西町東山

西町
西町曳山
西町曳山

西町
西町
西町


西町曳山

西町
西町
西町

西町
西町
西町

西町曳山

西町曳山

西町曳山
西町

西町曳山
西町
西町曳山

西町曳山
西町曳山

東町

東町

東町
東町

町
町
町
町
町
町
町

中町
中町
中町
中町

中町
中町

東町

町
町
町
町
町
町
町

東
町
東田

東町

中町

中町
中町

中町
中町